

「みえ国際ウィーク 2017 ～つながろう世界と、広げよう世界を！～」について

三重県では、サミット開催による経験を県内のグローバル人材の育成・活躍につなげるため、サミット開催日である5月26日、27日の前後2週間程度を「みえ国際ウィーク」と定め、県内市町や企業・団体の皆さんと一緒に、全県的な取組を実施することとしています。

1 キックオフイベント

日時：平成29年3月5日（日）13時00分～14時30分

場所：四日市都ホテル 伊勢の間

内容：パネルディスカッション

パネリスト 春香クリスティーンさん（タレント）

高瀬淳一さん（名古屋外国語大学教授）

生駒芳子さん（ファッションジャーナリスト）

参加者数：250名

パネリスト意見：

- ・サミットは、政治だけでなく文化の交流の場であった。
- ・サミット開催によって改めて気づいた地元の良さを今後もPRしていくことが必要
- ・三重県はサミットが開催されるに相応しい場所であったということを後世に伝えていくべき

参加者意見：

- ・高校生として、改めて三重県のことを知ろうと思うきっかけになった。
- ・サミットの経験を生かして、三重を元気にしていくため、県民としてできることをしていこうと思った。



2 「みえ国際ウィーク 2017」の取組予定

「みえ国際ウィーク 2017」に向けて、県内市町や企業・団体の皆さんからの自主的な取組を募集しているところであり、その取組内容を県のホームページ等で公表し、全県一体となった取組にしていきたいと考えています。

既に、ポスト・サミット給食、学校や保育園・幼稚園での異文化交流、シンポジウムや国際交流イベントなど、順次応募があり、100を超える様々な取組が行われる予定です。

みえ国際ウィークの取組が全県的にさらに活発になるよう、引き続き、今後も市町や企業・団体、学校等への周知や自主的な取組を働きかけていきます。

<市町での取組例>

- ・サミット給食
- ・シンポジウムの開催
- ・国際理解・多文化共生のパネル展
- ・伊勢志摩サミットパネル展
- ・姉妹都市等の写真展
- ・英語であいさつ・英語で絵本週間
- ・学校等での英語講師による実践指導
- ・幼稚園でフィリピンへの衣料等支援
- ・花いっぱい運動
- ・クリーン作戦 など

<企業・団体での取組例>

- ・在住外国人とのグローバルトレッキング
- ・「国際映画祭」の開催
- ・サミット会場でフラワーアレンジメント（G7国花・国旗カラー）を家族にプレゼント
- ・英会話やダンスを学ぶ国際キッズクラブの開校
- ・ジュニア・サミット写真展 など

<県の取組>

- ・シンポジウム等（予定）

「みえ国際ウィーク 2017」の期間中に、県主催のシンポジウムを開催。これから世界で活躍する若者による講演やパネルディスカッションを行うなど、県民が継続的に世界に目を向ける機会を設け、一層グローバルに活躍するきっかけを作ることを企画中

また、5月下旬に予定されているサミット記念館の開館イベントも国際ウィークの期間にあわせて実施